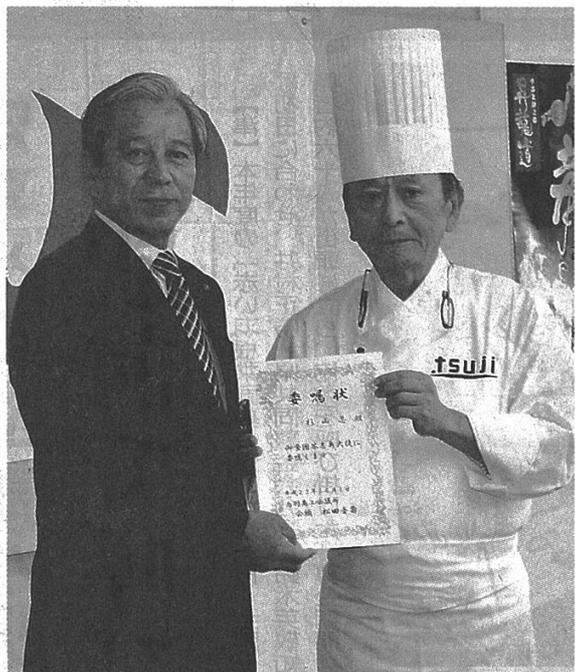


御食国 答志島大使

杉山シエフに委嘱

辻調「食で地域発展を」
顧問 鳥羽商議所



御食国答志島大使に就任した杉山シエフ(右) 鳥羽市大明東町の鳥羽商工会議所で

【鳥羽】鳥羽商工会議所(松田音壽会頭)は一日、同市大明東町の同商議所で御食国答志島大使委嘱式を開き、松田会頭が辻調理師専門学校(大阪市)の西洋料理技術顧問杉山忍シエフ(左)に大使就任の委嘱状を贈った。

委嘱式は、市内の離島・答志島の活性化を目指す「御食国答志島プロジェクト」の一環。杉山シエフは大使就任のあいさつで、先週、衣食住の神・豊受大神を祭る伊勢神宮外宮を参拝したことに触れ、「食に関してこの地域が発展していけるよう祈願してきた。精いっぱいやらせていただきます」と意気込みを語った。

杉山シエフは、藤原町(現いなべ市)出身で、専門はフランス料理。同校の講師を務める傍ら、テレビの料理番組「どっちの料理ショー」などの監修を務めた。平成二十一年には、厚生労働大臣表彰を受賞。今後は、大使として料理人の人材育成や、鳥羽の海産物を

を生かした御食料理弁当の認定などに携わる予定だ。御食国は、古来より朝廷に海産物を納めていた旧・志摩の国などを指す言葉で、「万葉集」の歌などにも登場する。同プロジェクトは、食文化や歴史を通じて、同島の活性化を図る目的で二十三年に始まった。(倉持亮)

10月2日 伊勢新聞

御食国大使に杉山シエフ

仏料理界重鎮 答志島をPR 鳥羽商議所

鳥羽商工会議所は一日、海の幸に恵まれた同市の離島・答志島を売り出すため、辻調理師専門学校(大阪市)の西洋料理技術顧問、杉山忍シエフ(63)を「御食国答志島大使」に委嘱した。

古代、志摩国は都に海産物などの食料を貢いだ「御食国」とされ、答志島はその中心的位置を占めていた。だが、現代では漁業の見通しが立たないうえ、漁業従事者の高齢化や魚食離れなどから厳しい状況に置かれている。



松田音壽会頭から委嘱状を受け取った杉山忍シエフ 鳥羽商工会議所会館で

況下に置かれている。同会議所は打開策として、答志島のブランド化のため「御食国答志島プロジェクト」を推進している。杉山シエフの大使委嘱はその一環で、ブランド化の構築のほか、島のPR、料理人の育成、答志島弁当の開発などに期待を寄せている。

杉山シエフはいなべ市出身で、フランス料理界の重鎮。2009年に厚生労働大臣表彰を受けている。松田音壽会頭から委嘱状を受け取った杉山シエフは「お役に立つならと、大使を引き受けた。私の経験を生かし、食に関して島がもっと発展できるよ提案をしたい」と意欲をみせた。【林一茂】

10月2日 毎日新聞